

**Beyond Limits. Unlock Our Potential.  
To the Next Stage.**

**第2期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画  
(新規拠点都市用)**

**コンソーシアム等の名称 : REGIONAL NEXUS HUB~NAGANO・NIIGATA~**

## 広域連携コンソーシアム



### 「REGIONAL NEXUS HUB」

～NAGANO/NIIGATA・・・～

日本の中心に位置し、首都圏や中京圏ともアクセスのよい長野と日本海側の重要な物流拠点である新潟が広域連携することで複数の強みを生かす「**NEXUS HUB**」(結節点)として地域資源を活かしたスタートアップが生まれるエコシステムを提案。

また、同様の特性を有する主に甲信越・北関東地域の広域連携を推進。

注力領域:「医療・ヘルスケア」・「フードテック」

「環境・エネルギー」・「次世代モビリティ・ものづくり」

NAGANO  
スタートアップ・  
エコシステム推  
進協議会

グローバルな視点でNAGANO発のイノベーション  
創出に取り組むスタートアップ・人材が集う地へ

注力領域:「医療・ヘルスケア」「環境・エネルギー」  
「次世代交通」「食」「観光」

スタートアップ  
エコシステム  
拠点都市新潟  
コンソーシアム

「地域融合スタートアップ」輩出県/集積地へ！

注力領域:「食」「ものづくり」「エネルギー」「観光」

# I. 全体ビジョンについて

## 0. 共通ビジョン

- 長野・新潟及び周辺地域の特性を活かし、地域資源と融合したイノベーション創出に取り組みます。
  - ① 地域発イノベーションをグローバルに展開し世界の課題解決へつなげます。
  - ② 地域のリソースを最大限活用し、世界からの投資・企業を呼び込みます。
- 各県が取り組む産業領域のうち、4分野に共通して注力し、グローバルな競争力を高めます。



医療・ヘルスケア

- ✓ 精密・金属加工などの、ものづくり産業技術を活かし、高度医療機器の開発に強みを持つスタートアップをグローバルに展開します。
- ✓ 大学・支援機関により医療現場のニーズ把握から医療機器特有の法規制及び販路開拓などに取組み、グローバルに通用する事業化を促進します。



フードテック

- ✓ 欧州企業を中心とした、サステナビリティの取組に対し、この地域が優位性を持つアップサイクル製品・技術をグローバルに展開します。
- ✓ 魅力的な食資源へ世界や日本全国からの投資を呼び込み、フードテックタウン構想の実現に取り組みます。



環境・エネルギー

- ✓ 水・水素分野の先端研究を活かしたスタートアップを創出し、新興国の衛生面やエネルギー供給の課題解決を図ります。
- ✓ 国内最大の稲作付面積等のポテンシャルを活用するとともに、国内有数のエネルギー施設の集積を活かし、次世代エネルギーの推進・事業化に取り組みます。



次世代モビリティ  
モノづくり

- ✓ 精密・金属加工などの、ものづくり産業技術を活かしたオーダーメイドでの部品供給や、交通課題地域のMaaS構築など革新性のある次世代モビリティを実現します。
- ✓ 中京圏の自動車製造業への部品供給地域として、中京圏スタートアップの社会実装やオープンイノベーションに取り組みます。

# I. 全体ビジョンについて

## (0-2) 5年後の目指す姿から導き出されるKPI (REGIONAL NEXUS HUB)

目標	KPI	現状	3年後 (中間KPI)	5年後 (最終KPI)
スタートアップの 集積	総スタートアップ数	163社	228社 (+65社)	307社 (+144社)
グローバル 競争力向上	グローバルフェーズ スタートアップ数 (海外展開・拠点設置等)	3社 <small>〔現状値:長野コンソーシアムのみの数値を計上、新潟コンソーシアムでは未計測〕</small>	23社 (+20社)	40社 (+37社)
地域イノベーション の創出	イノベーション イベント参加者数	381名 <small>〔現状値:長野コンソーシアムのみの数値を計上、新潟コンソーシアムでは未計測〕</small>	1,500名 (+1,119名)	6,000名 (+5,619名)

**Beyond Limits. Unlock Our Potential.  
To the Next Stage.**

**第2期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画  
(新規拠点都市用)**

**コンソーシアム等の名称：NAGANOスタートアップ・エコシステム推進協議会**

# I. 全体ビジョンについて

## 1. スタートアップ・エコシステム形成の目標・KPI

### (1) 応募の背景

現下の我が国の人口減少の波は、長野県においても総人口が50年ぶりに200万人を割るなど、深刻さを増しています。また、企業や人材、特に女性や若者が東京などの大都市に集中し、地域の担い手不足や経済の縮小など、地域における社会経済活動の維持・発展に大きな影響を与えています。

一方で、こうした社会の変化は、イノベーションの力で新たな希望を生み出す可能性があります。長野県では、2024年に県民会議を立ち上げ、大きな社会の変革に挑戦していく羅針盤として「**信州未来共創戦略～みんなで作る2050年のNAGANO～**」を策定しました。この中では、「**グローバルスタートアップへの支援**」「**スタートアップ、アントレプレナーとの連携による地域課題解決**」を掲げ、**NAGANO発のイノベーション創出に向けた取組を強化**することとしています。

危機感を挑戦への原動力に変え、**長野県で培われた最先端の研究やグローバルニッチトップの技術力、課題解決に挑む多様なイノベーターの集積**などの強みを活かし、**世界と繋がるスタートアップ・エコシステムを構築**していくことで、**世界に貢献するスタートアップの創出**を目指します。

### (2-1) エコシステムの現在地・5年後の目指す姿

#### 現在地

#### 信州スタートアップ・エコシステムの構築

○5年間で県内スタートアップが

**約80%増加、増加率は全国4位**

出所：2023.10.14日経新聞（2018～2023）

○2023年の資金調達累計額は全国27位

出所：INITIAL「Japan Startup Finance 2023」



自治体、大学・  
研究機関による支援

【特徴的なスタートアップ】

VFR株式会社



精密技術 × 山岳

株式会社 KURABITO STAY



伝統 × 観光

#### 強化ポイント

- **大学の研究シーズ**とグローバルな視点を持った経営者候補等とのマッチング
- **近隣地域と連携**した「グローバル」なスタートアップ創出に向けた広域的な取組（IJIE参画機関との連携）
- 東京・名古屋等の**グローバル拠点都市プラットフォームと連携**した海外展開支援・研究者海外派遣プログラム等への参加
- 県内産業とスタートアップとの**オープンイノベーション**（マッチングから実践までの伴走支援）
- 大都市圏で大企業や海外VC等との**ネットワーク構築**

（CENTRAL JAPAN STARTUP ECOSYSTEM CONSORTIUMとの連携、TIBパートナー＝東京都との連携等）

#### 5年後の目指す姿

「**グローバル**」な視点でNAGANO発のイノベーション創出に取り組むスタートアップ・人材が集う地へ

#### グローバル展開

NAGANOで培われた産業と先端技術の融合  
**先端技術で世界を変える  
スタートアップ創出へ**

スタートアップの  
世界からの**呼びこみ**・  
世界への**展開**

#### ローカル展開

長野の地域課題解決を  
世界の**社会課題解決**に

NAGANOでの地域課題解決は世界を救う  
**ソーシャル・インパクトの聖地へ**

# I. 全体ビジョンについて

## (2-2) 5年後の目指す姿から導き出されるKPI

目標	KPI	現状	3年後 (中間KPI)	5年後 (最終KPI)
 <b>スタートアップの 集積 (本店・拠点)</b>	<b>総スタートアップ数</b> (県内本店・拠点)	112社	<b>148社</b> (+36社)	<b>202社</b> (+90社)
	大学発スタートアップ創出数 (内数)	18社	<b>28社</b> (+10社)	<b>38社</b> (+20社)
	総資金調達額	107億円	<b>157億円</b> (+50億円)	<b>207億円</b> (+100億円)
	大学発スタートアップの 資金調達 (内数)	20億円	<b>35億円</b> (+15億円)	<b>50億円</b> (+30億円)
	オープンイノベーション事例数※	3事例	<b>13事例</b> (+10事例)	<b>23事例</b> (+20事例)
 <b>グローバル 展開</b>	<b>海外展開 スタートアップ数</b>	3社	<b>8社</b> (+5社)	<b>20社</b> (+17社)
 <b>ソーシャル インパクト</b>	<b>J-Startup Impact数</b>	0社	<b>1社</b> (+1社)	<b>3社</b> (+3社)
	スタートアップによる 社会課題解決事例数※	6事例	<b>21事例</b> (+15事例)	<b>36事例</b> (+30事例)

※行政が関与する支援数をカウント

## 長野県ならではの「新しいスタートアップ・エコシステム」を提案 (3つのポイント)

おすすめ!

### POINT1

#### ウェルビーイングな環境のもとで起業ができます!

首都圏など都市圏とのアクセスもよく、「信州リゾートテレワーク」※をご提案

→快適で健康的な「新たなライフスタイル」※による起業が可能

※新たなライフスタイル…多拠点起業、マルチワーク等

※信州リゾートテレワーク…自然と人の魅力があふれる信州の100を超える拠点の非日常空間で仕事をする事で新しい価値を見出す新しいライフスタイル



おすすめ!

### POINT2

#### 県と中核市 (長野市・松本市) が協働でスタートアップをサポートします!

県の創業支援拠点を長野市・松本市に設置し、連携した支援を実施

→県・中核市が連携した長野モデルでのスタートアップ支援を展開中



【実績】

5年間で県内スタートアップが

**約80%増加、増加率は全国4位**

出所: 2023.10.14日経新聞 (2018~2023)



臥雲松本市長 阿部知事 荻原長野市長

おすすめ!

### POINT3

#### 世界的な最先端技術とビジネスの融合を後押しします!

信州大学をはじめ県工業技術総合センター、産業振興機構、県内企業、JETRO  
による重層的な支援を実施

→国際的に優位性のある研究や先端技術を活用したスタートアップ創出・海外展開



信州大学のナノカーボンを用いた浄水技術に係る実証実験をサウジアラビアで展開

# 「NAGANO」という選択で、世界を変えるクロスイノベーション<sup>※</sup>を実現

～多様なプレーヤーを惹きつける地域の魅力と技術～

※セグメント、技術、業界、企業等の既存の枠組みを超えたイノベーション

## 自然を活かした最先端フィールド

### 挑戦に適した実証フィールド

- ✓ 山岳・高地 (登山・アウトドア、低酸素環境)
- ✓ 寒冷地 (冬季対応モビリティ、高断熱技術)
- ✓ 農林業 (スマート農林業、野生鳥獣対策) ...

### 地域資源×イノベーション

- ✓ 農産物・食品を活かしたアップサイクル製品の開発
- ✓ 森林資源を活用したカーボンクレジット、小水力発電
- ✓ 観光・文化資源を活用したインバウンド&Maaビジネス...

### 世界を変える先端技術



- ✓ グリーンエネルギー・材料・医療・ヘルスケアの最前線の研究
- ✓ 産学官で研究開発を支援

## Nagano X-Innovation

長野県・中核市 (長野市・松本市) がハブとなり高密度のスタートアップ支援を提供



### 抜群のアクセス & 快適で低コスト

- ✓ 首都圏・中京圏へ移動しやすい立地
- ✓ 家賃など低コストでビジネス拡大
- ✓ 自然溢れるコワーキングスペース多数

### グローバルニッチトップ企業

- ✓ 超精密加工・小型化技術で世界に展開する製造業多数
- ✓ オープンイノベーションで事業拡大を応援
- ✓ 県内企業のスタートアップサポート体制を強化

世界に誇る技術と研究



### 多様なイノベーターとの出会い

- ✓ 各地に個性的な起業家コミュニティ (NICOLLAP・サザンガク・NIB...)
- ✓ 全国トップクラスの移住者・地域おこし協力隊員数、二地域居住推進で意欲的なプレーヤーが集積

快適なイノベーション環境

### 【注力するスタートアップの産業領域】

※詳細は13~14P

- 世界に展開する精密加工・組立技術 (出荷額全国2位) をベースに、先端研究を活かす **医療・ヘルスケア分野** (要介護度をもとにした健康寿命全国1位)、**次世代交通分野** (全国1位の平均標高を活かした実証フィールド)、**環境・エネルギー** (研究論文・引用数世界トップクラス) 等
- 自然や地域資源を活かす **観光産業** (日本を代表する山岳高原リゾート・スノーリゾート)、**食品産業分野** (酒蔵・ワイナリー数全国2位、発酵食品・農産物等全国トップクラスの生産額) 等

## II. 地方自治体の取組

### 1. 首長の方針～「日本一創業しやすい県」から世界と繋がるスタートアップ・エコシステムへの飛躍を目指して～



長野県知事 阿部 守一

長野県では「**日本一創業しやすい県づくり**」を掲げ、創業支援拠点「**信州スタートアップステーション**」の設置や全国唯一の**創業等応援減税の実施**、オール長野の**官民連携ファンドの設立**など、創業のすそ野拡大とともにスタートアップ・エコシステムの構築に取り組んできました。

こうした取組により、県内のスタートアップや新設法人数は大きく増加し、着実に成果が表れてきたところです。

しかしながら、日本全体で人口減少が加速する中で、今後は視野を世界に広げ、長野県に集う多様なスタートアップにより、世界の課題・社会課題を解決するステージに入らねばなりません。

幸い長野県は、大都市圏からのアクセスもよく、「**移住したい県No.1**」※にも選ばれ続けています。※「田舎暮らしの本」宝島社

また、**リゾートテレワークの地**として多くのビジネスパーソンが集う県でもあります。**世界水準の山岳高原リゾート**、日本のふるさとともいえる**農山村**、**豊かな自然環境・森林資源・水資源**が都会にはない「**長野県の宝**」です。この宝に多くの人が魅せられています。

この宝をフィールドとして、既に**信州大学では水・水素の最先端の研究**により世界の課題を解決しようとする取組が始まっています。地域の中核企業とスタートアップの**オープンイノベーションによる先進分野への進出**の動きも見られます。

長野県の産業は明治期の製糸業に始まり、現在の精密機器の加工組立産業に至るまで、常に世界と繋がって発展してきました。**スタートアップ・エコシステムの更なる強化**により、この繋がりを一層強固なものとするのが可能となります。このことは、**東京一極集中を解決していく糸口**ともなるでしょう。今回の選定により、長野県は**世界と繋がるスタートアップ・エコシステムへの飛躍**を目指します。

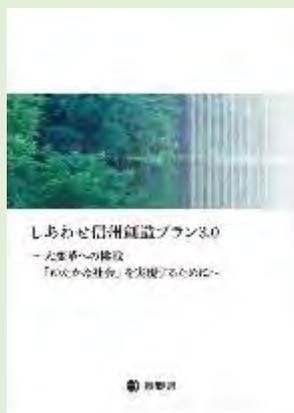
### 2. 総合計画におけるスタートアップ施策の位置づけ【長野県総合5か年計画「**しあわせ信州創造プラン3.0**」(2023~2027)】

#### ◆起業・スタートアップの増加・育成の推進

- 日本一創業しやすい県を目指し、産学官金が相互に連動しながら起業を生み出す**スタートアップ・エコシステムの機能強化**により、社会問題の解決に資する**ソーシャルイノベーション**等の新規創業を促進
- 県内における**資金調達環境の充実**等を支援し、**スタートアップの成長を促進**
- 教育機関や地域と連携した**アントレプレナー（起業家）教育の充実**及び既存企業における**社内ベンチャーの促進**等による起業しやすい環境・風土づくり
- 会社開業率**を目標に設定。3.1%（現状:2023年）⇒5%（目標:2027年）

上記計画の分野別計画である「**長野県産業振興プラン**」(2023~2027)では、「**日本一創業しやすい県の実現に向けたスタートアップエコシステムの機能強化**」を掲げ、支援機関による支援体制の強化、スタートアップへの投資促進、既存企業の強みやリソースを活用した起業支援の強化、女性起業家支援、大学発ベンチャー支援に取り組むこととしている。

【参考】長野県内に所在するスタートアップ数：112社（長野県調）



## II. 地方自治体の取組

### 3. スタートアップ支援部署の体制

	長野県	長野市	松本市
部署名	産業労働部 経営・創業支援課	経済産業振興部 イノベーション推進課	産業振興部 商工課・サザンガク
常勤職員数（現状）	12名	11名	3名
常勤職員数（将来想定）	14名	12名	3名

※将来は業務内容に対応した体制を想定

### 4. スタートアップ支援事業にかかる予算

#### (1) 総予算額

		R5（2023）年度	R6（2024）年度	R7（2025）年度
R7年度予算	県	116,742千円	122,174千円	139,169千円
合計263,036千円	長野市 松本市	69,507千円 37,013千円	63,830千円 41,110千円	72,047千円 51,820千円

※将来はスタートアップ支援ニーズに応じて対応を予定

#### (2) 主な支援事業と支援実績

主体	事業名	支援実績
長野県	①信州スタートアップステーション運営事業	①起業相談窓口利用者数：2,074件（R2～6） 支援を通じて生まれた起業家数：148者（R2～6） 連携支援している官民連携ファンドの投資企業数：20（R4～6）
	②医療系ベンチャー・スタートアップ創出支援事業	②POC補助金採択事例：3件（R6）
長野市	①高等教育機関スタートアップ創出事業	①セミナー、相談支援、講義受講者数延べ782名（R5～6）
	②起業家創出プログラム（NAGA KNOCK!）	②市内企業新規事業支援37社、プログラム参加人材73名（R3～6）
	③スタートアップ起業支援事業	③伴走支援起業家数：32名（R2～6）
松本市	○産業創発支援事業	○コワーキングスペース「サザンガク」にて起業をテーマとしたトークセッション+交流イベント「MeetUp33GAKU」を開催 参加者：延べ215名参加（R6）

# Ⅲ. 中心となるコンソーシアムの取組

## NAGANOスタートアップ・エコシステム推進協議会

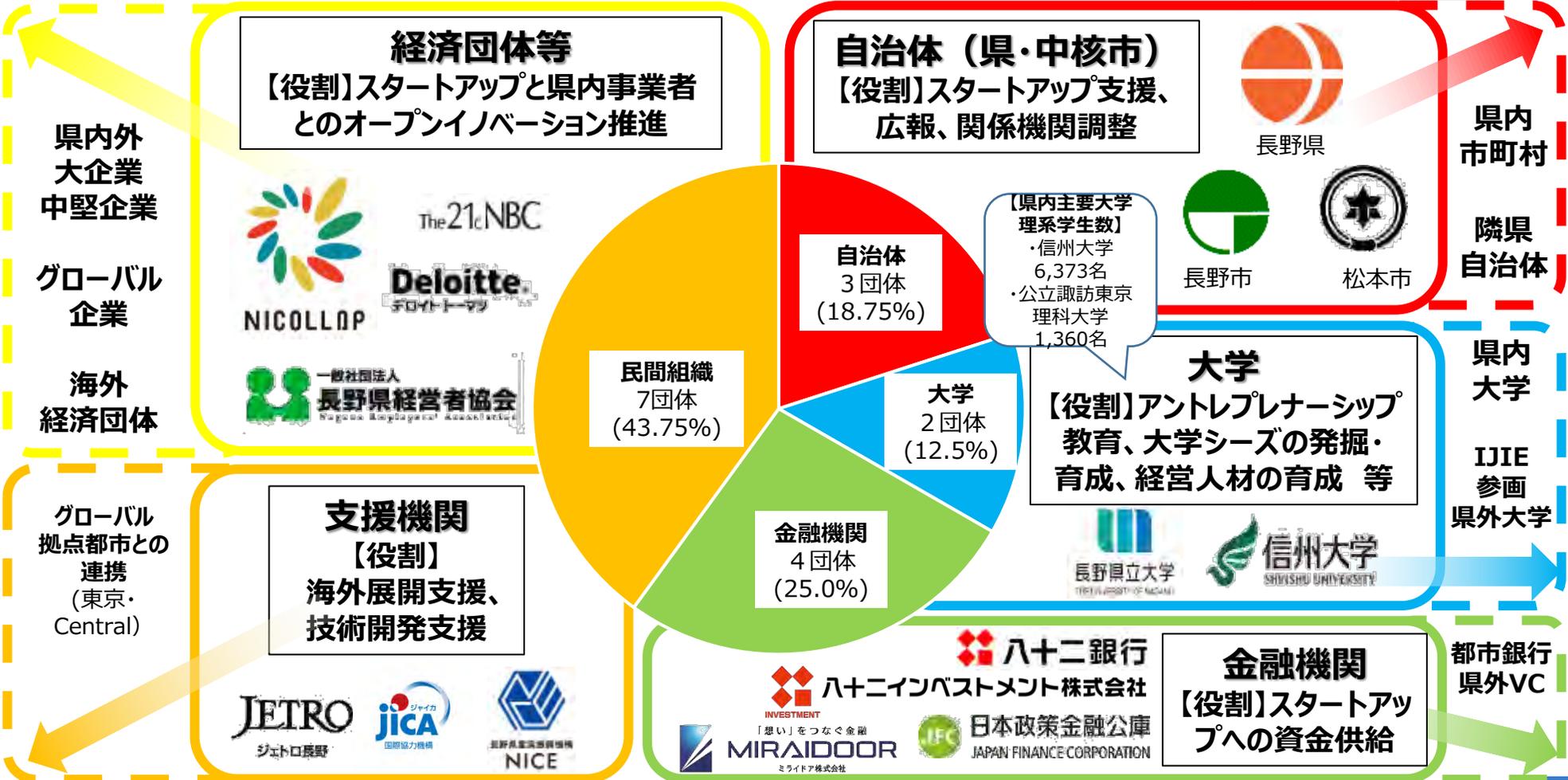
**持続的なエコシステムに向けた方策**

コンソーシアム間での情報共有、**連携したスタートアップ支援**を実施するとともに、**継続的に県内外のプレイヤーを巻き込み**、世界に繋がるコンソーシアムへ成長させる

**構成団体:**計16団体 (設立当初)  
**事務局:**長野県産業労働部経営・創業支援課

**域内の理系人材** (R2国勢調査より算出)  
 研究者数900名、エンジニア数38,260名

県人口1,983,165人  
 (R7.2.1時点) 比2.0%



# IV. 産業の特性

## 長野の得意技術や大学の先進的な研究を活かす産業

### 医療・ヘルスケア分野

医療機器生産額577億2,300万円（2023年）

- ・県内には精密加工技術において優位性を持つ企業等が数多く存在し、独自技術を活かした部品、半製品等を国内外に展開
- ・医療機器産業は患者の身体に合わせた形状・精度への要求等から、県内企業の貢献可能性が高く、得意技術を活かせる産業分野
- ・世界的に医療機器市場が拡大する中、今後の大きな成長が期待される

### 環境・エネルギー（水、水素）

・信州大学のナノファイバー（※論文数28位、引用数5位）や信大クリスタル、水分解・光触媒（※論文数2位、引用数8位）などの研究を活かせる分野※SciVal/2018-2022年の全分野・文献タイプを対象とした分析 国際順位

- ・水の循環利用やグリーン水素の生成・利用は、エネルギー自給に課題を抱える我が国で発展が見込まれる

- 信州大学（松本キャンパス）
- ・ 信州大学アクア・リジェネレーション 共創研究センター
- エス・バード（飯田市）
- ・ 信州大学航空宇宙システム研究拠点（南信州・飯田サテライトキャンパス）
- ・ (公財)長野県産業振興機構
- ・ 飯田工業技術試験研究所
- 航空宇宙産業クラスター拠点工場（飯田市）



- 信州大学（長野工学キャンパス）
- ・ 信州大学アクア・イノベーション拠点

**電子部品・デバイス小型化技術**  
・半導体 ・電子基板 ・小型モーター

**精密機器**  
加工組立型産業の製造品出荷額  
4兆8,823億465万円（2022年）

**精密加工技術**  
・金属加工 ・レンズ  
・小型モーター

**電子部品**  
・抵抗器  
・コンデンサー

**南信州 電子部品**  
・センサー  
・アクチュエーター

- 県工業技術総合センター 材料技術部門（長野市）
- (公財)長野県産業振興機構（長野市）
- ・ 信州医療機器事業化開発センター

- 信州大学（上田キャンパス）
- ・ ファイバーイノベーションイキュベーションセンター
- ・ オープンベンチャー・イノベーションセンター OVIC
- (一財) 浅間リサーチエクステンションセンター（上田市）

- 信州大学（松本キャンパス）
- ・ 信州大学医学部・附属病院
- ・ 信州地域技術メディカル展開センター
- ・ 信州メディカル産業振興会
- ・ 信州医療機器事業化開発センター（松本オフィス）
- 松本歯科大学（塩尻市）
- 松本ヘルス・ラボ（松本市）

- 県工業技術総合センター 精密・電子・航空技術部門（岡谷市）
- NPO諏訪圏ものづくり推進機構（諏訪市）

### 次世代交通分野

航空機部品等製品出荷額101億5,703万円（2022年）

- ・中京圏に近い南信州・上伊那地域を中心に航空機の装備品・エンジン部品のメーカーが集積
- ・信州次世代空モビリティ活用推進協議会を設立し、次世代空モビリティの早期社会実装を官民共同で積極的に推進
- ・国内最高の平均標高であり揚力を得にくいことが、逆に飛行試験などの実証を行うのに優位
- ・農業、建設、輸送、災害時用等に無人機の拡大需要が見込まれる

# IV. 産業の特性

## 長野がもつ魅力(自然・観光・食品)を活かす産業

### 観光産業

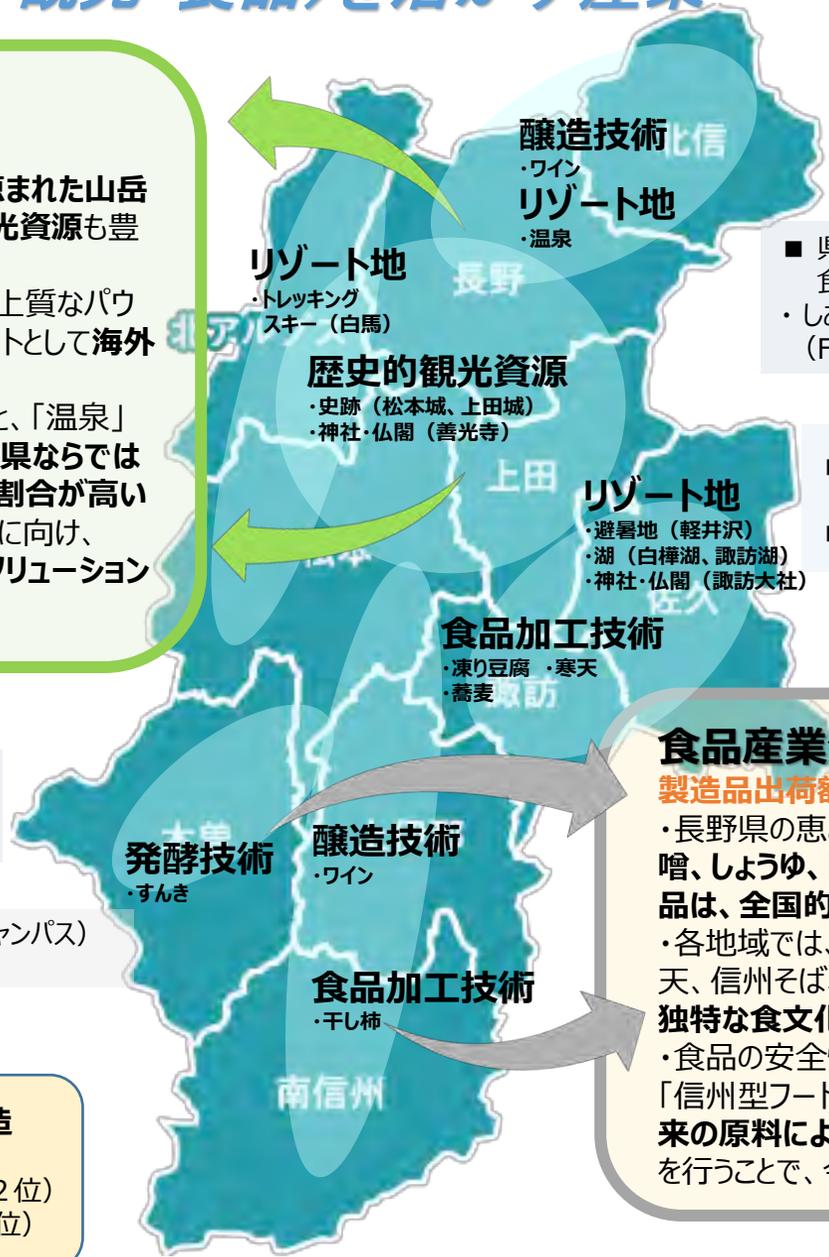
観光消費額：8,549億円（2023年）

- ・標高3,000m級の山々と豊かな自然に恵まれた山岳高原リゾートであり、歴史的名所などの観光資源も豊富な観光県
- ・1998年冬季オリンピックの開催地であり、上質なパウダースノーを楽しめる世界有数のスノーリゾートとして海外から高い知名度を誇る
- ・宿泊旅行の目的について全国と比較すると、「温泉」「自然鑑賞」「スポーツレジャー」といった長野県ならではのアウトドアの体験を目的に観光に訪れる割合が高い
- ・観光産業の高付加価値化、生産性向上に向け、MaaSや観光DXの推進等、先端技術とソリューションを提供できる企業との連携が期待される

- 県工業技術総合センター 環境・情報技術部門（松本市）
- ・ 地域資源製品開発支援センター

- 信州大学（伊那キャンパス）
- ・ 農学部

- 発酵食品を中心に全県で製造
- ・ 日本酒蔵数 78蔵（全国2位）
- ・ ワイナリー数 87ワイナリー（全国2位）
- ・ 味噌蔵数 86蔵（出荷額全国1位）



- 信州大学（長野キャンパス）
- ・ 工学部
- 長野県立大学

- 県観光機構（長野市）

- 県工業技術総合センター 食品技術部門（長野市）
- ・ しあわせ信州食品開発センター (Foodラボ)

- (公財)長野県産業振興機構（長野市）
- ・ グリーンイノベーションセンター
- 長野県食品工業協会

### 食品産業分野

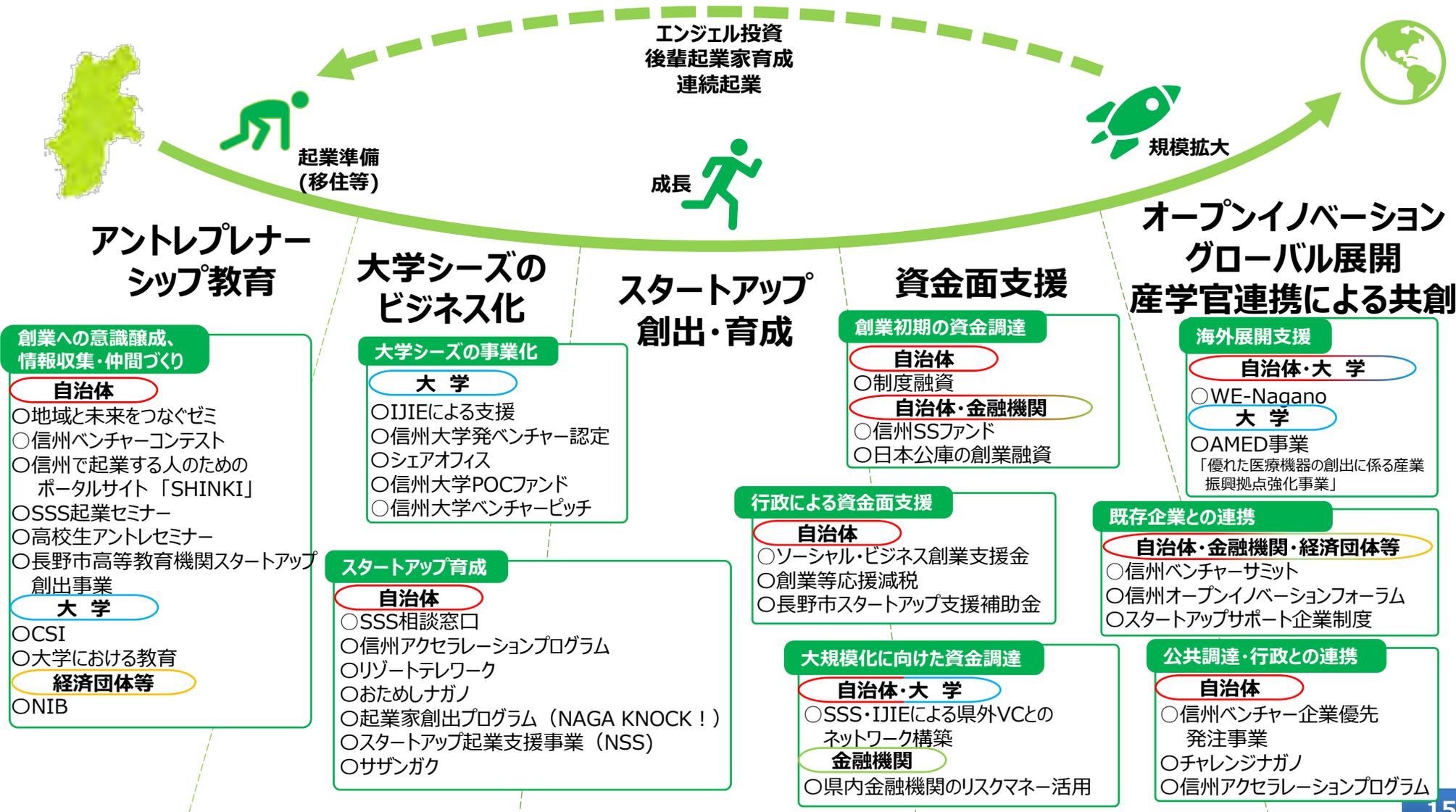
製造品出荷額：7,751億円(2022年)

- ・長野県の恵み豊かな自然と風土、技術で育まれた、味噌、しょうゆ、日本酒、ワイン、漬物、チーズ等の発酵食品は、全国的にもトップクラスの出荷額
- ・各地域では、豊かな自然環境を活かして、凍り豆腐や寒天、信州そば、おやきなどの伝統的な食品やジビエなどの独特な食文化が発展し、観光資源にもなっている
- ・食品の安全性や環境問題に対する意識が高まる中、「信州型フードテック」として食品のアップサイクル、植物由来の原料による代替品など課題解決に向けた技術開発を行うことで、今後さらなる需要の伸びが期待される

# V. コンソーシアム内での取組内容

## エコシステムの全体像

**支援コンセプト** 起業の思い・大学シーズを世界へ繋げる、スタートアップへの濃密な支援



# V. コンソーシアム内での取組内容

## アントレプレナーシップ教育 ~コンソーシアム内で連続的に行う起業家教育~

これまでの取組

社会人

信州で起業をする人のためのポータルサイト  
**SHINK!**

**スタートアップセミナー**  
「SHINKI」(長野県)  
・スタートアップセミナー  
(資金調達、人材戦略等)  
・県内の起業支援情報をポータルサイトで**一体的に発信**

**信州ベンチャー  
コンテスト**  
(長野県他)  
**産学官金が連携し**、  
ビジネスアイデア・  
ビジネスプランを発表  
するコンテスト  
R6年度実績：登壇  
者9件(応募数55件)、  
参加者数130人

**長野イノベーションベース**  
(民間組織)  
「経営者が経営者を育てる。経営者同士が学び合う。」をコンセプトに設立  
・上場企業3社排出を目標に月例会  
等を開催  


大学・  
高専生

**大学における教育**(県立大)  
○グローバルマネジメント学科  
企(起)業家コースによる実践的  
なアントレプレナーシップ教育

**大学における教育**(信州大学)  
○大学発技術系ベンチャー**実践論**  
自身の専門性を活用し、起業や新規  
事業化につなげる知識等に係る  
講座(理工系大学院生向け)  
○ベンチャー**起業入門**  
自ら起業するための基本的な知識と  
スキルを習得できる講座(学部生  
向け) ※**県等と連携しコンテンツ提供**

・**ブラッシュアップ  
セミナー**(トーマツ)  
登壇者向けにピッチ  
ブラッシュアップ  
・**高校生セミナー**  
(日本政策金融公庫)  
高校生のコンテスト  
応募希望者のビジネ  
スプラン作成を支援

**ソーシャル・イノベーション  
創出センター**(県立大)  
学生に対する起業支援や社会課題に  
取り組む地域の事業者等の窓口



高校生  
以下

**地域と未来をつなぐゼミ**(長野県、R3~)  
経営者等による講座・研修

**高校生向けアントレセミナー**(長野市、R6~)  
**日本政策金融公庫と自治体**が連携した起業セミナー

セミナー・講義等

ビジネスコンテスト

起業家コミュニティ等

低

起業への関心

高



5年後に向けた取組の方向性

- 起業家教育のすそ野拡大：小中学生向けプログラム検討
- 起業家・研究者の海外展開 ※JST事業「STAT事業(スタートアップ・エコシステム形成支援)」

**KPI：行政の支援による  
スタートアップ創出数+50社**

# V. コンソーシアム内での取組内容

## 大学シーズのビジネス化 ~IJIEを中核にしたヒト・モノ・カネ支援~

### 5年後に向けた取組の方向性

**KPI：大学発スタートアップ数 + 20社**  
**大学発スタートアップへの資金供給 + 30億円**

- 大学の特色ある研究・シーズに基づくスタートアップ創出・成長を加速化
- プラットフォームを中心に支援を広域・グローバルに拡大

### 現在地

大学で起業家育成、経営資源提供、資金調達支援を総合的に実施



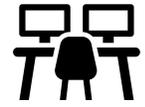
(ヒト支援)

### 信州大学発スタートアップ認定

・累計**23社認定** (R7.2末時点)

### ソーシャル・イノベーション創出センター

(県立大・再掲)  
 ・地域企業や自治体との連携を活用し、学生や地域住民の相談に応じて適切な機関や専門家につなぐ**学内イノベーション支援機関**



(モノ支援)

### MAP

インキュベーション施設 & シェアオフィス



信州大学内に施設整備

## Inland Japan Innovation Ecosystem



大学等の特色ある研究成果・技術シーズからスタートアップ創出・成長させるための**甲信・北関東地域の産学官金プラットフォーム**

- ・事業期間：R6.2~R10.3
- ・**主幹機関：信州大学**
- ・参画機関：69機関 (R7.2末時点)



プラットフォームの成果等	事業終了時 (2028年3月)	事業終了5年後 (2033年3月)
大学発SU創出数 (累計)	11社	26社
大学発SUの外部からの資金調達総額 (累計)	4.1億円	85億2,000万円



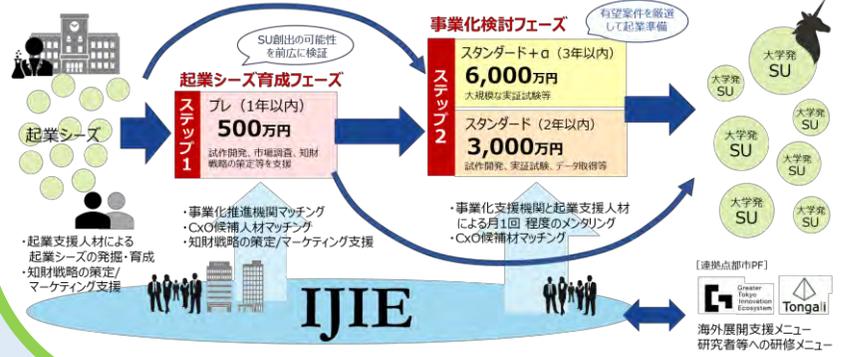
(カネ支援)

### 信州大学POCファンド

・企業への技術移転や大学発スタートアップ創出を目的とした**学内GAPファンド**

### 信州大学ベンチャーピッチ

- ・教職員及び学生向けの**ピッチコンテスト**
- ・最優秀賞受賞者には**NEDOと連携支援**



## IJIE-GAPファンドプログラム

起業シーズの発掘、資金支援、マーケティング支援、CxO人材マッチング等をIJIEが一貫して支援

### 支援実績 (R6年度)

- ステップ1 18件
- ステップ2 2件

# V. コンソーシアム内での取組内容

## スタートアップ育成 ～「NAGANO」での起業・事業創出の挑戦を応援～

### 長野県

～事業構想前からアクセラまで幅広い支援～

創業支援拠点「信州スタートアップステーション」を  
支援内容 松本市・長野市で運営

- ・創業相談を常設（R2～）  
（相談延べ件数 2,074件,創業件数148者）
- ・アクセラレーションプログラム（H30～累計38社支援）
- ・官民連携ファンドと連携したハンズオン支援（R4～）  
（投資企業数20社）

目標：創業件数 320者,スタートアップ創出数 50社

### 松本（SSS matsumoto）

### 松本市

～コワーキングを核とした  
起業家コミュニティ運営～

「サザンガク」を運営  
・起業機運醸成のための  
体験プログラム  
累計215名が参加

### 長野（SSS nagano）



### 関西 中京圏



中央本線  
名古屋から松本まで約2時間



新しい働き方  
地域の関わり方を



移住したい県  
19年連続  
日本一

- ・リゾートテレワーク拠点を100か所以上整備
- ・IT人材・企業の「おためし」を支援
- 二拠点起業・外国人材による起業を促進

### 首都圏



北陸新幹線  
東京から長野まで約90分

2034年以降  
飯田市へ  
リニア開通予定

### 長野市

#### 起業家創出プログラム（NAGA KNOCK！）

既存経営者と首都圏等の副業兼業人材をマッチングし、新規事業の立上げと副業兼業人材の起業を支援  
（新規事業支援37社、プログラム参加人材73名）

#### VENTURE FOR JAPAN との連携

既存企業が起業家志望者を経営者の右腕として採用し、起業家精神を養う民間プログラムを展開

#### スタートアップ起業支援事業

#### （NAGANO STARTUP STUDIO）

スタートアップを理解するセミナー、アイデアピッチ等を行う他、事業構想段階から起業・成長までを支援（伴走支援起業家数32名）



長野市スタートアップ支援補助金  
賃貸料や外部人材の活用に関わる経費を補助【後掲】

～スタートアップにつながる起業意識の醸成から成長に至るまでを幅広く支援できる環境を整備～

1. 起業家を目指す人を増やす

2. 起業を志す人を誘致する

3. アイデアをビジネスにする（起業につなげる）

4. 起業した人が事業を継続できる支援をする

# V. コンソーシアム内での取組内容

## 資金面支援 ~起業前から上場に至るまでの一貫支援~



KPI:総資金調達額  
+100億円

県内の全金融  
機関が出資

5年後に向けた取組の方向性  
県外（海外）VCの呼び込み  
資金調達メニューを充実させるため、県外VC・海外VCによるスタートアップへの投資を呼び込む

投資・融資

2024年  
12月組成！

**信州SSファンド**  
(運用総額:7億7百万円)

**信州SS2号ファンド**  
(運用総額:7億7百万円)

スタートアップ・第二創業企業に対して創業初期の出資 (5~50百万円/社)

**累計投資件数: 20件 (R7.1末)**

投資・融資

**八十二サステナビリティ1号ファンド**

概要:金融機関系ファンド  
総額**300億円**の民間ファンド

補助金

**スタートアップ支援補助金 (長野市)**  
スタートアップの集積を図るため、賃貸料や人件費等を補助

補助金

**長野県ソーシャル・ビジネス創業支援金 (長野県)**  
社会課題解決に資する創業への補助  
(全国上位の採択件数)

投資・融資

**創業融資 (日本政策金融公庫)**

官民連携ファンドと  
県内金融機関の  
協調融資

投資・協業を呼ぶ  
ピッチイベント開催



投資・融資

**制度融資 (長野県、市)**  
信州ベンチャーコンテスト・サミット参加企業、信州アクセラレーションプログラム採択企業等スタートアップへの**金利優遇 (長野県)**

税制

**創業等応援減税 (長野県)**  
創業後5年間法人事業税減免制度  
**(全国唯一)**

補助金

**おためしナガノ (再掲)**



# V. コンソーシアム内での取組内容

## オープンイノベーション・グローバル展開 ~スタートアップの加速度的成長支援~

**KPI : オープンイノベーション事例数 + 20事例**  
**スタートアップと行政との連携数 + 10件**

**5年後に向けた取組の方向性**  
 JETRO長野・JICAとの連携、長野県海外展開方針（2025年度策定予定）による海外プレイヤーとの関係性構築、海外投資の呼び込み

### 【県内企業等との協業】

**信州ベンチャーサミット**（長野県 他）  
 県内最大級のスタートアップピッチイベント  
 （計13回開催、R6年度実績：会場参加127名、オンライン視聴635回）



**信州オープンイノベーションフォーラム**（長野県 他）  
 県内金融機関と連携し、スタートアップと県内企業が交流するイベント  
 （R6年度実績：県内企業等254名が参加）

**スタートアップサポート企業制度**（長野県）R7～  
 経営資源の提供や商品PR等、スタートアップをサポートする企業を募集

**信州スタートアップ・承継支援ファンド**（長野県他・再掲）  
 県内企業による地域内M&Aを促進

### 【公共調達・行政連携】

**チャレンジナガノ**（長野県・再掲）  
**信州ベンチャー企業優先発注事業**（長野県）  
 新商品や新たな事業分野の開拓を図る企業を県が認定し、随意契約で購入可能にすることにより、スタートアップ等の販路開拓を支援



年度	R元	R2	R3	R4	R5
認定件数	5件	42件	5件	4件	6件
契約件数	0件	19件	0件	6件	2件

**信州アクセラレーションプログラム**（長野県・再掲）  
 伴走支援するスタートアップと県庁を繋ぎ、実証実験等を支援

多様な主体・地域を巻き込み、スタートアップの成長加速を実現

### 【域外関係者との連携によるスタートアップ支援】

**Central Japan Startup Ecosystem Consortiumとの連携**（長野県 他）R7～  
 県内スタートアップと中京圏スタートアップとの協業、中部経済連合会管内の各地域の特徴を活かしたスタートアップ育成

**首都圏・中京圏・関西圏との連携**（長野県 他）  
 県内スタートアップと大都市圏のイノベーション人材との交流イベント等



R6人材交流イベント@大阪  
 （県内スタートアップ4社登壇、関西圏参加者28名）



**WE-Nagano**（長野県立大学、長野県）  
 「グローバル×女性活躍」による地域イノベーションを発信（R6年度初開催）  
 スタートアップのグローバル展開需要を喚起

### 【グローバル展開】

**AMED事業「優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業」**  
 （信州大学）  
 医療系スタートアップの海外展開支援  
 IJIEと連携し、知財支援、セミナー、海外展示会等を実施



1社1億円/展示会の商談を目指す



# V. コンソーシアム内での取組内容

## 産学官連携による共創 ~「NAGANO」の個性的なフィールドから生まれる新たな価値~

# チャレンジ ナガノ!

- ① 県が市町村の抱える地域課題を募集
  - ② 課題と県外企業を公募によりマッチング
  - ③ フィールドの提供、関係機関(県内企業等)の調整等を実施
- 県全体のオープンイノベーションを促進【実績】
- ・マッチング件数288件

### 【スタートアップとのプロジェクト】

白馬村×アルピコ交通(株)×SWAT Mobility Japan(株)×BIPROGY(株)×信州大学

中野市×(株)おてつたび

諏訪市×アンテナ(株)×(株)NAVICUS

MaaS技術による交通の最適化 産官学によるプロジェクト

伝統野菜の担い手確保とコミュニティ形成プロジェクト

地域事業者のブランディング、マーケティング戦略プロジェクト



信州次世代空モビリティ活用推進協議会

【取組】

- ・ドローンの活用・普及、実証実験の助成
- ・空飛ぶクルマの社会受容性・理解促進
- ・ドローンサービス・パイロットのマッチングプラットフォーム構築

官民共創プラットフォーム

ドローンファンド・スタートアップが参画

ゼロカーボン社会共創プラットフォーム

環境スタートアップがピッチ

【取組】

- ・市町村の課題と企業のソリューションのマッチング機会を提供
- ・アップサイクルスタートアップの製品を拠点に展示

発酵バレーNAGANO

日本一の山岳高原

- ▶ 日本アルプス等の険しい山々 平均標高1,132m (全国1位)
- ▶ 冬季の低温環境
- ▶ 標高657.5mの日本で一番空に近い空港「信州まつもと空港」

持続可能な環境への取組

- ▶ 都道府県で初「気候非常事態宣言」を发出
- ▶ 空気のきれいさ PM2.5観光基準達成率100% (14年連続達成)
- ▶ 一人当たりのごみ排出量少なさ全国トップクラス
- ▶ 県土の約8割が森林 (全国3番目)

農林業のDX・スマート化

発酵バレーNAGANO

【取組】

- ・大学・研究機関との技術開発や共同開発
- ・発酵ツーリズム (デジタルツアー・インバウンド向けツアー等)

フードテック・アップサイクルの開発・研究

世界に誇る発酵食品

- ▶ 豊かな自然環境に恵まれ、澄んだ空気や良質な水がもたらす発酵食品 (信州味噌・漬物・日本酒・ワイン等)

豊富な観光資源

- ▶ 世界的な知名度を誇る冬季五輪開催地
- ▶ インバウンドを魅了する自然・文化等の豊かな観光資源 (夏の上高地、軽井沢、冬の白馬、野沢温泉、善光寺、松本城、中山道等)

IoTを活用した観光周遊促進の実証実験

長野ITコラボレーションプラットフォーム

NICOLLOP

スタートアップ・イノベーターがピッチ

5年後に向けた取組の方向性

- ・県内産業の活性化に向け 上場企業・中核企業等とのオープンイノベーション強化
- ・各地域の特性を生かした スタートアップとの連携強化

**Beyond Limits. Unlock Our Potential.  
To the Next Stage.**

**第 2 期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画  
(新規拠点都市用)**

**コンソーシアム等の名称：スタートアップ・エコシステム拠点都市新潟コンソーシアム**

# I. 全体ビジョンについて

## 1. スタートアップ・エコシステム形成の目標・KPI

### (1) 応募の背景

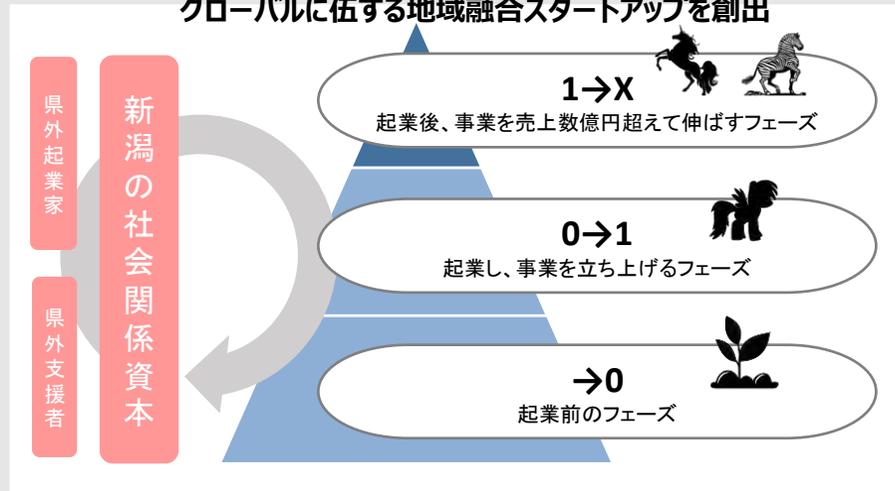
起業率最下位クラス県から、「地域融合スタートアップ」輩出県/集積地へ！

#### 応募の背景と歩み



新潟県は、長くスタートアップ創出最下位層であったが、日本海側唯一の単県のJ-Startup実施県になることや、地域独自のVCの存在、日本海側最大級の単県インキュベーション施設(NINNO)の構築など、固有のエコシステムが産官学金により構築されてきたことによりスタートアップの機運が醸成されてきた。5大都市とは異なる特色を求めるSUやSU支援者の集積が始まっている。(特に、食産業のイノベーションにおいては世界有数の食の産業クラスターを新潟に形成することを目指した「新潟フードテックタウン構想」が、昨年始動。)日本海最大の国際貿易港を有する、新潟の海外への発信ポテンシャルをもって新潟発スタートアップの世界への更なる連携を目指すためのエコシステムを形成する。

新潟ならではの「地域から/地域で/地域を」を叶えるエコシステムがグローバルに伍する地域融合スタートアップを創出



新潟県のスタートアップエコシステムは「起業(0→1)とグロース(1→X)のフェーズ」「地域との融合」が特徴。

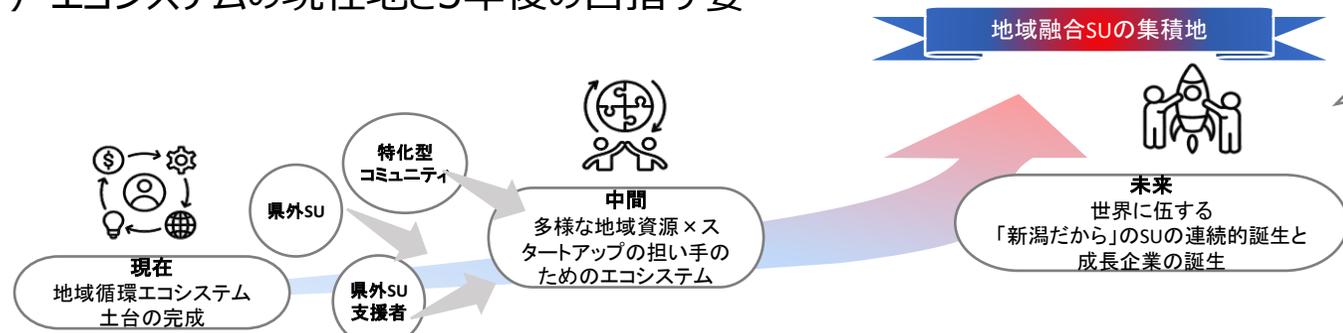
起業に向かう人の挑戦の段階分けがされることで、各フェーズの方向性が統一され、起業家が少ないと言われていた新潟地域においての連続的な成長段階の支援や環境づくりを可能としてきた。

また、食産業、モノづくり、観光、教育機関など、特徴のある地域資源とスタートアップの融合が促進される場が提供されることで、スタートアップを地域のイノベーションのエンジンとし、地域へ還元する産官学金のエコシステムが形成されている。(エコシステム内プロジェクト例：R6[内閣府：地方大学・地域産業創生交付金事業]にいがた2km「おいしさDX」産学官共創プロジェクトが進行中)

# I. 全体ビジョンについて

## 1. スタートアップ・エコシステム形成の目標・KPI

### (2) エコシステムの現在地と5年後の目指す姿



**5年後創出されるスタートアップのイメージ**

- 食品×Tech/農業×Tech
- モノづくり×Tech
- 脳科学×DeepTech
- アニメ・漫画×Tech
- エネルギー×Tech

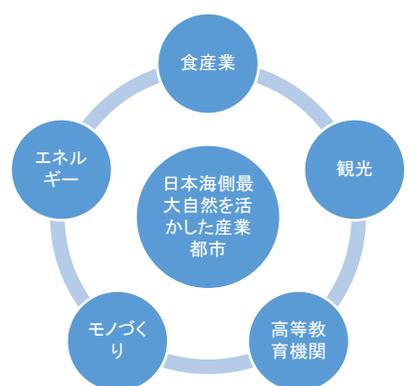
等、地域資源×Techのスタートアップ  
ローカルゼブラ/ユニコーン/インパクト  
スタートアップが創出される。

新潟においては、現在までに起業家が誕生し(0→1)、成長する(1→X)ためのエコシステムが形成された。また、小中高、高専生にむけたアントレプレナーシップ教育や社会人にむけたイノベーションのためのリスキリング・スキリングの拠点が整備されるなど、起業に向かうための一歩目(→0)も含め一体的に整備されてきた。今後は、それらの土台を活用し、さらなる地域資源×スタートアップの創出にむけて集中的なスタートアップ創出のためのコミュニティを形成していくことで、「地域融合スタートアップ」の最多輩出県/集積地となることを目指す。

新潟県においては起業フェーズ【0→1】 成長フェーズ【1→X】とスタートアップ企業を区分けし成長促進している	現在(令和6年度)	3年後(令和9年度)	5年後(令和11年度)
【1→X】地域発グロースフェーズスタートアップ数	31社	40社	45社
【0→1】地域発起業家数	20社	40社	60社
【グローバル】世界連携済スタートアップ数	172件 (RS/SU含む県内全事業者)	15件 (以降SUに限って計測)	20件
【エコシステム】オープンイノベーションイベント実施数	未計測	年間1000人以上の集客	年間5000人以上の集客

### (3) 世界に発信できるセールスポイント (イチ推しポイント)

日本海最大の国際貿易港から世界へ届く、食や観光、エネルギー、世界に誇る金属製品を支えるものづくりを、大学・高専を中心とした技術教育機関によって支え日本におけるそれらの産業のイノベーションを支える都市。



**日本の食を支える**

- ・米生産量全国1位
- ・酒蔵数全国1位(発酵技術)
- ・ユネスコ無形文化遺産「伝統的酒造り」の地

**世界に誇る観光資源**

- ・世界遺産「佐渡島の金山」
- ・日本三大花火/長岡花火
- ・スキー場全国最多

**人口比率トップクラスの高等教育機関数**

- ・国立：新潟大学/長岡技科大/上越教育大など
- ・長岡工業高等専門学校など
- ・国立大学唯一の国立附置脳研究所

**世界有数の金属加工**

- ・金属洋食器国内シェア90%以上
- ・iphoneなど世界的な工業製品の製造を支える技術

**国内有数のエネルギー施設集積**

- ・国産原油、天然ガス生産量1位
- ・バイオマス発電全国1位の発電量
- ・自然を活用したあらゆるエネルギー施設

## II. 地方自治体の取組（新潟県）

### 1. 首長の方針

- 本県産業が持続的に発展する中、新しいビジネスに挑戦しようとする意欲ある若者たちや企業等に選ばれる新潟の実現を目指し、「起業・創業の推進」を重点的な政策展開・取組に位置付け
- 起業家予備軍の育成や新規起業を促進するとともに、スタートアップが成長できる環境づくりを推進するほか、社内起業家の育成など企業内起業につながる新事業の創出を図る
- 県内外の多様な支援者と連携した総合的な創業支援体制を構築し、起業家等がその成長段階等に応じた支援を得やすい環境の整備を図る

### 2. 総合計画におけるスタートアップ施策の位置づけとKPI・KGI

計画名称：新潟県総合計画

計画期間：令和7年度～令和14年度

基本理念：「住んでよし、訪れてよしの新潟県」～国内外の人や企業に選ばれる新潟～

#### 第6章 新潟県のめざすべき将来像と基本政策の展開方向

##### II 地域経済が元気で活力のある新潟

##### 2 活力のある新潟

##### (1) 挑戦する人や企業が生まれ、集まる環境の整備

##### ② 起業・創業の推進

#### 【めざす姿】

挑戦しようとする若者等の裾野の拡大が進み、産学官金が連携した起業・創業への支援の下、多様なスタートアップが新しいアイデアや技術を提供することで、地域経済の活性化や持続的発展に貢献する。

(参考) 民間スタートアップ拠点からの創業件数  
196件 (R1～R5累計)

#### 【政策の展開・取組】

- ・起業家予備軍の育成と新規起業の推進
- ・スタートアップが成長できる環境づくり
- ・企業内起業につながる新事業の創出
- ・総合的な創業支援体制の構築

#### 【達成目標 (KPI)】

指標名	現状値	令和10年度 目標値	令和14年度 目標値
J-Startup NIIGATA選定 企業による株式上場数	1社 (R5年度)	3社	5社
J-Startup NIIGATA選定 企業のうち、資金調達額が 5千万円以上の企業数	10社 (R5年度)	14社	18社

## II. 地方自治体の取組（新潟県）

### 3. スタートアップ支援部署の体制

担当部署：新潟県 産業労働部 創業・イノベーション推進課 新事業支援班  
担当者数：7名（課長・補佐・班員5名）

### 4. スタートアップ支援事業にかかる予算

#### (1) 総予算額

年度	令和6年度	令和7年度
予算額	100,936千円	107,789千円

【将来想定】

県の最上位計画である「新潟県総合計画」に位置付ける「起業・創業の推進」に必要となる体制・予算を引き続き確保

#### (2) 主な支援事業と支援実績

～段階に応じた幅広い支援により、スタートアップが次々に生まれ成長する環境を構築～

成長期

- ◆ IPO経営人材育成プログラム
- ◆ J-Startup NIIGATA成長支援事業
- ◆ スタートアップ・大企業オープンイノベーション事業
- ◆ 外部経営人材活用による成長促進事業

IPOを目指す県内企業の経営者を対象とした連続講座  
J-Startup NIIGATA選定企業の県外での認知拡大、販路拡大等を支援  
スタートアップと県内大手企業のマッチングにより事業共創・事業連携を促進  
成長を加速させる社長の右腕（CXO）人材とスタートアップとのマッチング

⇒J-Startup NIIGATA選定企業によるIPOを2社輩出（R7.2月時点）

創業・  
事業構築

- ◆ スタートアップ資金調達支援事業
- ◆ 企業内起業による新事業創出支援事業
- ◆ ベンチャー企業創出事業
- ◆ 起業チャレンジ応援事業

県外VCを呼び込み、シード・アーリー期のSUが資金調達ができる環境を構築  
企業内起業につながる県内企業の新事業創出を支援  
成長性の高いアイデア・技術を活用した起業や事業推進を助成金で支援  
起業時にかかる経費の一部を補助

⇒高成長が見込まれるスタートアップ31社をJ-Startup NIIGATAに選定（R7.2月時点）

起業検討

- ◆ 民間スタートアップ拠点による起業支援
- ◆ 起業家コミュニティ広域展開事業
- ◆ 起業家発掘・養成事業
- ◆ いがたスタートアップ情報発信事業
- ◆ 起業意識醸成事業

県内8か所の民間スタートアップ拠点のメンターが、起業検討者をサポート  
起業家・起業家予備軍と支援者をつなぐオンラインコミュニティの形成・拡大  
県内大学等と連携し、学生などに起業家教育プログラムを提供  
Web・SNSを活用した起業関連情報の発信  
様々な層の起業意識を高めるためのイベント開催

⇒R1～R5の5年間で民間スタートアップ拠点から196件の起業を創出

## Ⅱ. 地方自治体の取組（新潟市）

### 1. 首長の方針

起業家やスタートアップ企業などの多様な企業や人材が集うビジネス交流拠点都市を目指す。

### 2. 総合計画におけるスタートアップ施策の位置づけとKPI・KGI

地域企業の経営力強化、新たなビジネスや成長産業の創出・育成を掲げ、起業・創業しやすい環境を整えるとともに、食や農をはじめとする新潟市の強みを活かした新たなビジネスの創出と成長産業の育成を図る。

【取り組み指標】 創業支援事業計画に基づく延べ創業支援件数

### 3. スタートアップ支援部署の体制

- ・産業政策・イノベーション推進課 11人（令和6年度）
- ・IPCビジネス支援センター（新潟市の外郭団体：新潟IPC財団が運営）7人（令和6年度）

### 4. スタートアップ支援事業にかかる予算

（1）総予算額 令和6年度 26,511千円

（2）主な支援事業と支援実績

特定創業支援の中心的役割であるIPCビジネス支援センターは、従来のスモールビジネス支援を大事にしつつ、スタートアップ支援強化のため、令和6年度に新潟ベンチャーキャピタル(株)と連携協定を締結し、LP出資することで資金的支援を開始。創業支援全体の取り組み強化を進めている。

創業支援事業計画に基づく延べ創業支援件数（令和3年度2,562件、令和4年度2,917件、令和5年度2,846件）

## Ⅱ. 地方自治体の取組（長岡市）

### 1. 首長の方針

新しいアイデアと手法・手段により市民生活の向上と産業の活性化につなげる「長岡版イノベーション」を政策の柱に据え、市内4大学1高専や長岡商工会議所、産業界、行政が連携し、さまざまな取り組みを進める。

### 2. 総合計画におけるスタートアップ施策の位置づけとKPI・KGI

#### 長岡市イノベーション推進本部 基本方針(1)産業の振興・起業の促進

##### ② 若者の起業・創業を促進し、女性にとって魅力的な働く場を創出する

長岡に集う若者を中心に据え、新しいビジネス創造に向けたチャレンジができる環境整備を進める。若者や女性・外国人が十分に能力を発揮でき、長岡で働く意欲を高める企業を誘致、育成する。

これまでのスタートアップ件数：21件 / これからのスタートアップ件数：前年度増を継続

### 3. スタートアップ支援部署の体制

商工部産業イノベーション課 10人中2人がスタートアップ支援に従事。将来的にも人数増減なし。

### 4. スタートアップ支援事業にかかる予算

(1) 総予算額 82,853千円

ソフト事業（起業創業支援事業） 22,000千円

ハード事業（ながおか新産業創造センター）60,853千円

#### (2) 主な支援事業と支援実績

- ・リターンローンチパッドプログラムには毎年20名程度の学生が参加、プログラム参加者から8社が起業しており、中にはj-startupNiigataに選出された企業もある。
- ・起業後の成長支援には様々な専門家からなるメンター陣を用意し、無料でメンタリングを実施している。
- ・長岡インテベンテッククラブを開催し、資金調達を望む企業が事業計画発表を行い、VCなどからの資金調達を実施する場を設けている。
- ・地域活性化起業人を登用し、スタートアップシーズの発掘やアクセラレーションプログラムの構築を検討している。
- ・インキュベーション施設を運営しており、j-startupNiigata選出企業などが利用している。

#### 長岡版イノベーション

##### 基本方針

- ◆変化の波を的確に捉え、新たな発想や先端技術を取り入れ、市民生活の向上と産業の活性化を実現する。
- ◆長岡市では、**平成29年4月**からイノベーションを政策の中心に。



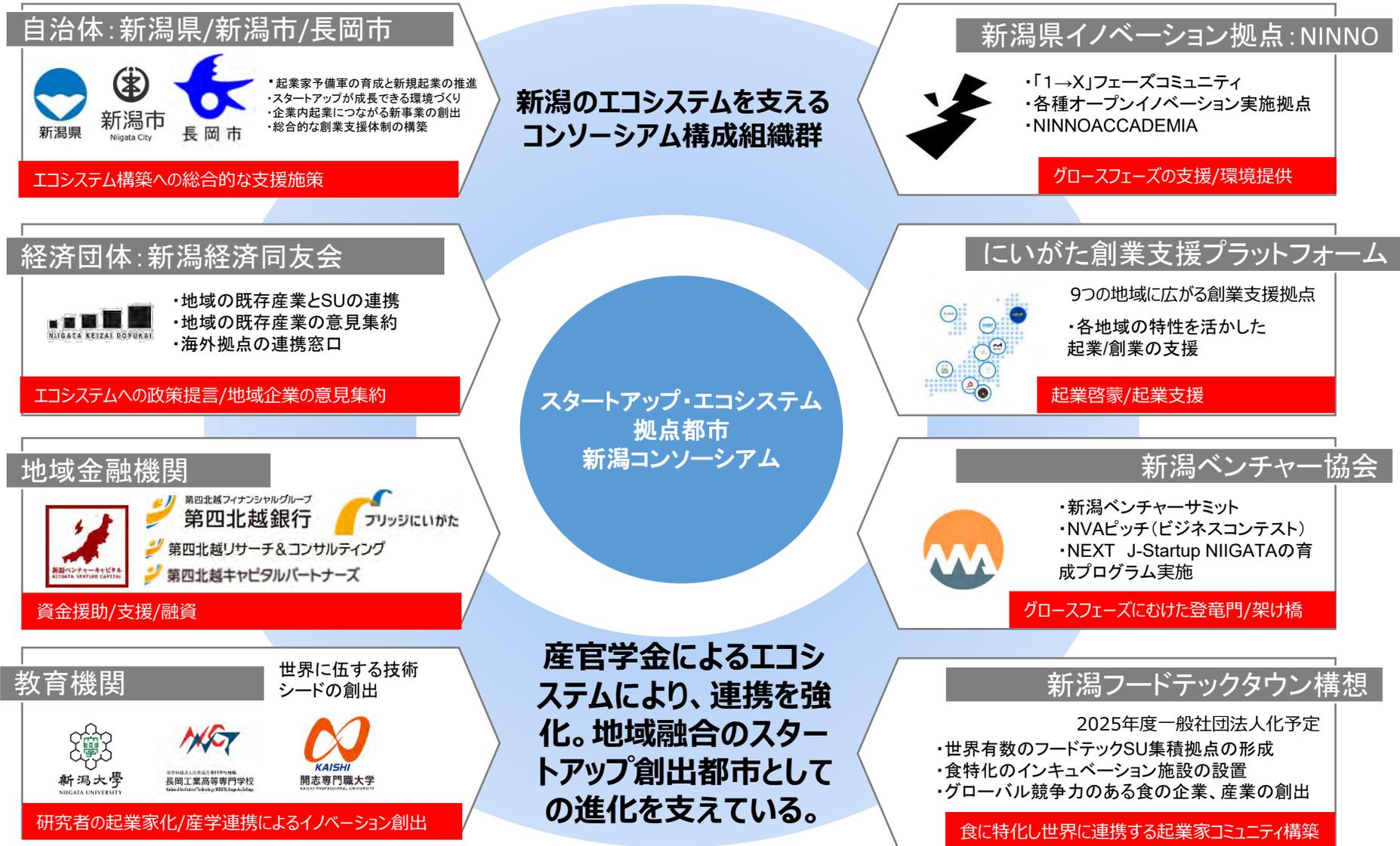
##### 推進の基本的視点

- 長岡の英知を結集し、**産業を活性化**させる
- 若者による**起業・創業**を促し、長岡を新しいビジネスの発信源に
- 変化する時代に合わせた、**最適な行政サービス**を追求
- 変化の波に自らの足で立ち、自ら時代を切り開く**人材を育成**

# Ⅲ. 中心となるコンソーシアムの取組

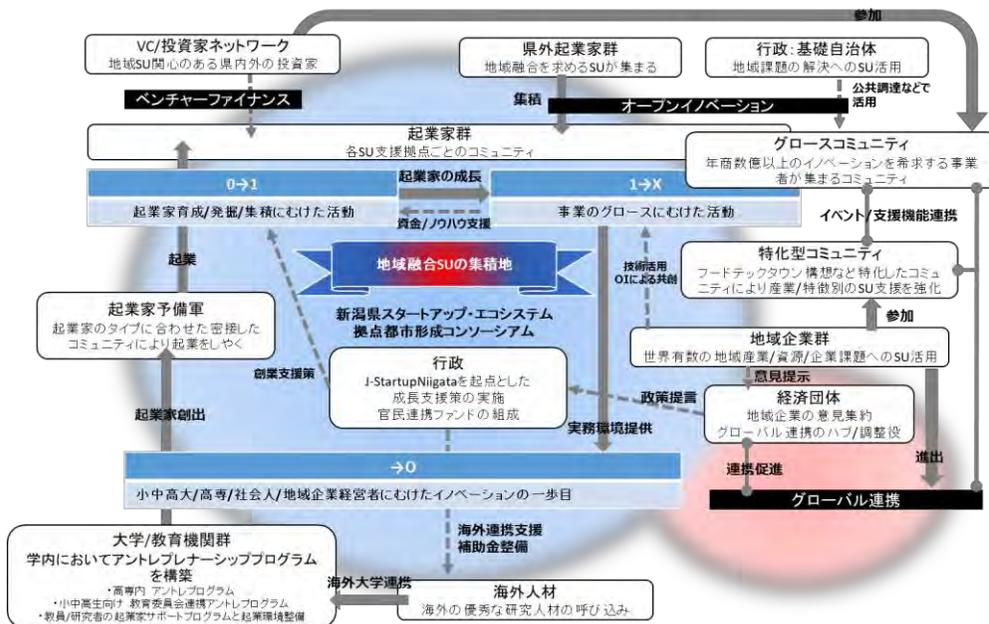
## 1. コンソーシアムの構成（現在の状態）

## 2. 各主体が担う役割



# Ⅲ. 中心となるコンソーシアムの取組

## 1. コンソーシアムの構成（5年後目指す姿を記載）



地域融合型スタートアップの創出にむけ、技術力のある大学、専門学校が存在を背景にした一体的なコンソーシアムを構築する。

■ 域内には30の高等教育機関：上越教育大学/長岡技術科学大学/長岡造形大学/国際大学/新潟食料農業大学/新潟青陵大学など、本県「主要産業×SU」を誕生・成長促進する教育・研究環境が充実している。

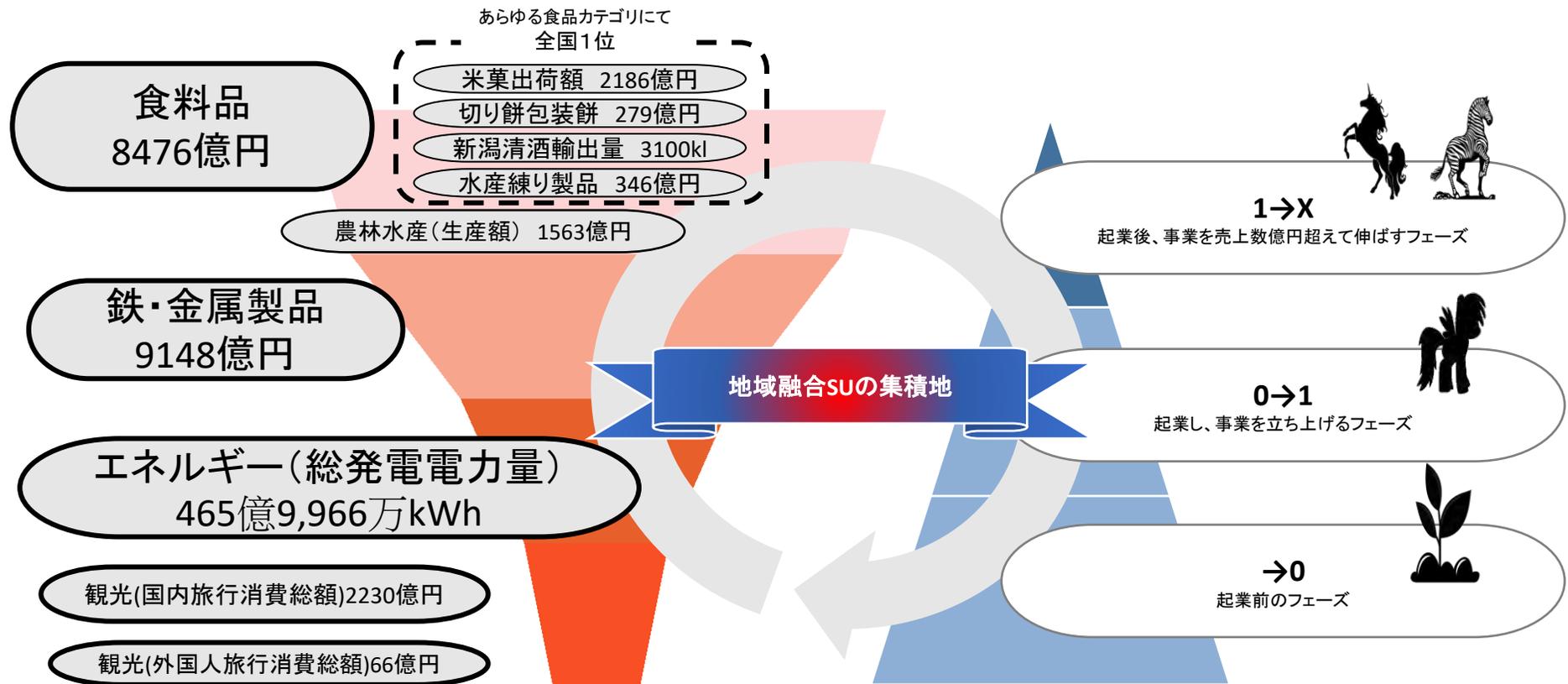
在籍者数(名)	人口総数	理系学生	エンジニア	研究者	技術者・研究者の割合
<b>県内全体</b>	2,120,898	—	31420	740	1.5%
		↑国勢調査での計測数 / 各大学内での計測数↓			
新潟大学	-	5243	114	1546	-
長岡工業高等専門学校	-	1036	-	72	-
開志専門職大学	-	232	-	17	-

具体的な方策実施主体	実施内容	コンソーシアム組成における成果
コンソーシアム全体	コンソーシアム参加団体での定期的な連携会議を実施	各団体の取り組みを地域内のシームレスな連携により強化 全国から地域融合型を目指すSUが集結する。
新潟県	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業家予備軍の育成と新規起業の推進/スタートアップが成長できる環境づくり</li> <li>企業内起業につながる新事業の創出</li> <li>総合的な創業支援体制の構築</li> </ul>	コンソーシアム構成団体等と連携し、スタートアップが次々に生まれ、成長する環境を構築
NINNO 一産官学金交流の拠点	県内外のSUの成長環境の充実にむけ、継続的な産官学金の交流、投資家や国内外人材の還流を支える。 ・地域の人事部「NINNOインベーターの人事部(R6経産省補助事業の継続)」 ・ローカルゼブラ誕生にむけた新たなコミュニティの創生	県外SUの人材確保機能を根付かせ、県外の人材の関わりを増やす。(CXO関係人口を定量指標)
大学	新潟県内の高校生、大学生を対象としてビジネスアイデアコンテスト(OPENGATENIIGATA)を開催、起業家予備軍にとっての成果発表の場である。	2023年より毎年開催、2024年より、開志専門職大学、新潟大学、長岡高専などを中心とした学生参加者により県内全土の登壇門化。受賞者の質向上を狙う。
フードテックタウン構想 一食に特化した特化型コミュニティ形成	新潟県を中心としたフードテック特化のSUエコシステム、コミュニティを形成 ・教育機関でのフードテック起業家育成、研究シーズの事業化支援 ・フードテックに特化したVCの設立・海外連携したインキュベーション施設の開設 ・米関連の技術開発や海外展開を推進する委員会の組成	2035年までにフードテックスタートアップ500社を創出 ※2030年時点では100社程

# IV. 産業の特性

## 1. 注力する産業領域

本県のスタートアップ創出においては特に食品産業/農林水産業に注力し、「フードテック」のスタートアップの創出。これらを基軸にし、日本海側最大の国際貿易港の利点を活かした地域融合の産業特化型のスタートアップ創出の機運を高めていく。本活動を起点とし、「金属製品産業×スタートアップ」「エネルギー産業×スタートアップ」「観光産業×スタートアップ」の創出のための産官学金の強固なエコシステム構築を進めていく。



# IV. 産業の特性

## 2. 当該産業の可能性

食品産業、金属加工製品、エネルギー、観光産業の市場拡大の可能性は高くありつつ、同時に高度なテクノロジーによる産業構造の変革が求められている。本国における当該産業領域におけるスタートアップ連携の必要性は一層高まる傾向にある。

### 産業領域の国内外動向

#### 食品産業

- 食料需給  
—人口増加による穀物需要の増加
- 原料価格上昇による値上げ
- 外食産業の回復
- フードテック市場の市場拡大  
—市場規模2050年には280兆円  
—フードテック投資額増加傾向

#### 金属製品

- 市場227億7000万米ドル/CAGR5.10%と高い成長率
- サステナビリティ/環境配慮型製品への注目
- 金属3Dプリンター市場やスマート製造などの技術革新

#### エネルギー

- 再生可能エネルギーへのシフト
- 世界の電力需要の増加と再生エネルギーの拡大による対応(総発電量の3分の1を占める見込み)
- 欧州: 2035年までに100%再エネ転換
- 米国: 再エネ関連インフラへの巨額投資

#### 観光

- 国際観光客増加予測3-5%増(UNWTO)
- 総旅行予約額約270兆円到達  
—2026年までに年間6-9%で成長
- 地域分散型観光/高付加価値体験/サステナブル観光がテーマ
- 輸送費、宿泊費上昇、地政学リスク、異常気象などが影響

### 国内産業領域の成長可能性

- 少子高齢化社会における健康食品や機能性食品の需要増
- 日本食や高品質な加工食品の海外需要の高まり(特にアジア市場)
- 「フードテック官民協議会」など官民協力体制による研究開発支援

- 製造業における基幹産業としての安定性
- 高付加価値製品や品質向上へのシフトにより日本の品質レベルの需要増
- 労働力不足、原材料価格高騰が課題であるため、自動化などSU融合が必要

- 2030年までに再生可能エネルギー比率を36-38%に引き上げの目標
- 2050年までにカーボンニュートラルを目指す
- 再生可能エネルギーへのシフトが進む一方、設備投資や土地利用に課題

- インバウンド市場回復/過去最高を記録  
—訪日外国人旅行者数3687万人  
—消費額8兆1千億円
- 観光庁予算額5.4%増  
—デジタル技術活用/地方誘客戦略の促進

### 本県における動向

- 23年度農林水産物輸出額最高額到達  
—日本食ブームによるコメの輸出  
—円安背景によるニシキゴイの輸出
- フードテックタウン構想による産官学連携(2025年VC設立予定)

- 燕三条地域の難加工材や精密板金加工への世界からの期待と評価
- 金属3Dプリンターの活用により精密加工技術の高度化が促進中
- 環境対応型技術: マグネシウム合金の圧延加工技術やリサイクル性を考慮した製品開発進行中

- 数十億規模の官民連携ファンドの立ち上げ(再エネへの投資)  
→日本における設備投資課題への対応
- 広大な土地を利用した再エネ集積促進  
—全国24位のメガソーラーなど

- 数十億規模の官民連携ファンドの立ち上げ(観光施設や2次交通への投資)
- 佐渡島の金山の世界遺産登録
- 最大700億円投資によるリゾート開発

# V. コンソーシアム内での取組内容

## 1. これまでの取組

地域資源を背景としたスタートアップ創出のための基盤形成を実施。地域外IT・スタートアップ企業の産業立地数の多さと産官学金連携したエコシステムにより「地域融合型スタートアップ」の創出を促進してきた。

	活動	具体的な内容	これまでの成果
新潟県	グローバル化の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏グローバル拠点(CIC)などと連携したグローバル連携支援</li> <li>・ムーンショット型研究開発制度への研究シーズの応募企業への支援</li> <li>・AWS(アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社)との包括連携によるグローバル知見の活用</li> </ul>	NEDOムーンショット採択(株式会社パンタレイ:長岡市)
	アントレプレナーシップ教育推進	県内大学と連携した起業家教育プログラムの提供	R2年度の開始から、これまでに1,000名を超える学生・社会人等が参加
	オープンイノベーションの促進	スタートアップと県内大手企業のマッチングにより事業共創・事業連携を促進	R5年度の開始から、これまでに20件を超えるスタートアップと県内企業の連携事例を創出
	公共調達の推進	新規性の高い優れた新商品を提供する県内事業者を認定し、事業者の販路開拓を支援	
新潟市 長岡市	グローバル化の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市:スタートアップビザ(外国人創業活動促進事業)の整備</li> <li>・新潟市:国際創業特区の整備</li> <li>・長岡市:グローバル人材活躍推進協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・34社(23年度過去最多)のIT企業の集積</li> <li>・長岡市:モンゴル、ベトナム、キルギスとの連携「モンゴル3高専DX人材育成プロジェクト(JICA)」など</li> </ul>
	アントレプレナーシップ教育推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市:創業支援窓口新潟IPC財団の設置</li> <li>・新潟市:「食と農」分野特化した市内企業とSUのアクセラレーション/オープンイノベーション</li> <li>・長岡市:起業支援プログラム「ファーストペンギンプログラム」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市/新潟IPC財団:包括的な創業支援体制構築にむけて市内民間運営VCへのLP投資</li> <li>・新潟市:「食×Tech」の起業家が誕生/資金調達実行</li> <li>・長岡市:起業数累計54社(株式会社)</li> </ul>
	オープンイノベーションの促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市:異業種・異分野の企業間による「DXプラットフォーム」とOI促進事業</li> <li>・新潟市:にいがた2km・8区連携オープンイノベーション推進事業/ビジネス交流イベント「日々是新」</li> <li>・長岡市:地域企業DXと高専OI「Ent-X(三菱みらい財団)」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市:市内ドローンSU全国展開</li> <li>・長岡市:県外高専生起業家予備軍の集結</li> </ul>

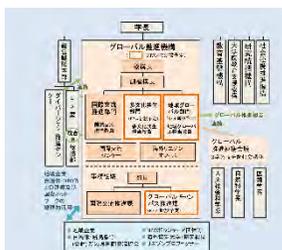
# V. コンソーシアム内での取組内容

## 1. これまでの取組

高度な技術背景と、人口当たりの高等教育機関の多さによる起業家予備軍潜在数を土台にした、教育機関発のスタートアップ創出と成長段階への連動強化を行ってきた。

活動	具体的な内容	これまでの成果
グローバル化の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内大学: JSTみちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム(MASP)への参画</li> <li>・新潟大学: グローバル推進機構の発足</li> <li>・高専: グローバルエンジニア輩出のための次世代型専門教育プログラム</li> </ul>	<p>米国マサチューセッツ工科大学(MIT)を中心に考案・提唱した実践的エンジニアの育成を目指す教育体系で世界的標準に長岡高専が加盟</p>
アントレプレナーシップ教育推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内学生参画のビジネスコンテストを毎年実施。県内の高校生、大学生によるビジネスアイデアコンテスト。デロイトトーマツが主催するUpdate Earthとはネットワークパートナーとして連携。</li> <li>・新潟大学: アントレプレナーシップ論研究者による研究室からの起業家輩出</li> <li>・高専: 高専専門学校スタートアップ教育環境整備事業(文部科学省)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県内だけでなく、全国から広く新潟県に興味がある高校生、大学生を集結、新潟県の特徴である「食」を中心として起業家の輩出、スタートアップを創出</li> <li>・学内発起業家の連続的誕生環境の構築</li> <li>・新潟大学: 伊藤准教授国際学会「ASBBS」において最優秀論文賞を2度受賞</li> </ul>
オープンイノベーションの促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学: 県内産業とのオープンイノベーション一亀田製菓と米菓の新価値共創プロジェクトを実施。産学連携による米食産業の振興に寄与。</li> <li>一パール金属と若年層向け新商品開発プロジェクトを実施。産学連携を通じた、金属加工業の高付加価値化を推進。</li> <li>・大型外部資金の獲得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産学連携を通して生まれたアイデア・企画の商品化。</li> <li>・米産業や金属加工といった新潟県の主幹産業にイノベーションを生じさせる人材の輩出。</li> <li>・新潟大学: JSTのCREST・さががけ、AMED-CREST、PRIMEなどの大型外部資金獲得 <a href="https://www.niigata-u.ac.jp/contribution/research/ability/bigproject/">https://www.niigata-u.ac.jp/contribution/research/ability/bigproject/</a></li> </ul>

大学  
高専



新潟大学グローバル推進機構の設置



長岡高専アントレプレナーシッププログラム一覧



学生向けビジネスコンテストOpenGateNIIGATA

# V. コンソーシアム内での取組内容

## 1. これまでの取組

日本海側最多の上場企業数（38社）の地域産業を背景にした、産官学金のイノベーション/スタートアップ創出にむけたエコシステムを構築。民間主体で運営される事業グロース拠点NINNOの存在が特徴。

活動	具体的な内容	これまでの成果
グローバル化の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済同友会：キルギス連携促進</li> <li>・産官学：ベトナムビンロン省とのMOU</li> <li>・クールジャパンEXPOの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業による現地研究施設開設</li> <li>・クールジャパンEXPO:14807名来客</li> </ul>
アントレプレナーシップ教育推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産官学金：IPO経営人材育成プログラムNIIGATA（東証）の実施</li> <li>・産官学：新潟ベンチャーサミットの実施</li> <li>・産官学：地方版未踏プログラムの実施（経産省）</li> <li>・産官学：イノベーション施設を活用した小中高大への実務的アントレプレナーシップ教育提供（新潟県プログラミング教室など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟ベンチャーサミット：200名超のスタートアップ関連事業者の集結</li> <li>・地方版未踏プログラム：グローバル連携スタートアップ予備軍の発掘</li> <li>・プログラミング教室：県内13自治体での小中学校連携実施</li> </ul>
オープンイノベーションの促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NINNO：日本海側最大イノベーション施設の開設（NINNO）</li> <li>・InnoLaboNIIGATA produced by KDDIの継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NINNO:47社の成長志向型ベンチャーやIT企業の集結</li> <li>・拠点活用によるコミュニティ内OIの実施</li> <li>・InnoLabo:30社の地域企業参画</li> </ul>

民間  
経済団体



InnoLaboNIIGATA参加企業一覧



小中学生向け実務型プログラミング教室の様子



NINNOへの参画企業一覧

# V. コンソーシアム内での取組内容

## 2. スタートアップ・エコシステム形成に向けた今後の取組

官民連携ファンドの組成などによる投資促進を背景とした、地域融合型のスタートアップ促進を目指す。

	活動	具体的な内容	5年後の目標
新潟県	グローバル化の促進	海外展開支援メニュー <a href="https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/sangyoseisaku/shien-menu.html">https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/sangyoseisaku/shien-menu.html</a>	
	起業家予備軍の育成と新規起業の促進	経済界や大学等と連携した起業家教育プログラムや先輩企業家との交流の機会を提供	起業を志す人が、様々な支援者から段階に応じた支援が得られる環境が実現
	スタートアップが成長できる環境づくり	・投資家やVC、金融機関と連携し、円滑な資金調達が可能な環境を整備	資金や人材など、成長に必要な経営資源を獲得しやすい環境が実現
	企業内起業につながる新事業の創出	・県内企業とスタートアップとのオープンイノベーションを促進 ・県内企業からのスピンアウト等を促進するための社内起業家の育成	県内企業、スタートアップ双方の理解が進み、協業や事業共創が生まれやすい環境が実現
新潟市 長岡市	グローバル化の促進	・新潟市「スタートアップビザ(外国人創業活動促進事業)」を、国家戦略特区を活用して用意(継続)	継続してスタートアップの輩出・成長に寄与する支援を実施
	アントレプレナーシップ教育推進	・新潟市:DXプラットフォーム/「にいがた2km・8区連携オープンイノベーション推進事業」を継続実施	
	オープンイノベーションの促進	・長岡市:新設イノベーション拠点「米百俵プレイスマライエ」を起点とした産産連携、産学連携、大学連携などのオープンイノベーションを進め、次代に対応する人材育成と産業振興を目指す。 ・長岡市バイオコミュニティ:地域資源である「コメ」や未利用資源を活用したバイオ産業の創出を目指すほか、既存産業と有機的につながる持続可能な循環型コミュニティの形成	
	公共調達の推進	・新潟市:新潟ベンチャーキャピタル(株)と連携協定を締結し、LP出資することで資金的支援。(IPCビジネス支援センター) ・企業の誘致促進	

# V. コンソーシアム内での取組内容

## 2. スタートアップ・エコシステム形成に向けた今後の取組

本コンソーシアム形成により、横断型での活動を集結することによる地域融合型スタートアップ集積気運の醸成を加速させる。(2025現在産官学での横断大規模イベント実施キックオフ済) 更に、特化型のコミュニティ形成により産業特化型のエコシステムを加速させる。

### 横断型の活動

活動	具体的な内容	5年後の目標
グローバル化の促進	・クールジャパンEXPOの継続実施 ・「日本海側の中核拠点新潟発、世界へ」の宣言/経済同友会	・全国からの数万人規模来訪のイベント実施
アントレプレナーシップ教育推進	・産官学金による段階別起業促進支援活動の実施	・地域発起業家60社創出 ・グローバル連携スタートアップの連続創出環境の構築
オープンイノベーションの促進	・イノベーションウィーク内(2025より実施予定)でのプログラム実施 -DX、地域企業OI、公共調達OI、フードテックOI	・総計5以上、1000名超参加者のプログラムの継続実施 (5年後には3000名超の参加者を目標)
起業家・支援者等の呼び込み	・本コンソーシアムによる全プログラムを集合させたイノベーションウィークの実施(2025実施予定会議推進中)	・総計1000名を超えるスタートアップ、スタートアップ支援者の集結

### 産業特化型の活動

主要な実施主体	活動	具体的な内容	5年後の目標
産官学金 フードテックタウン 構想	グローバル化の促進	・海外のフードテックインキュベーション施設と提携し、SUの海外展開を支援 ・国外フードテックSUの日本拠点の新潟誘致 ・新潟の強みである米や発酵関連の技術支援基盤を強化し、海外起業家や人材を誘致	・国内発SUの海外展開が進んでいるだけでなく、海外のマーケットファーストのSUが創出されている ・国外SUを30社ほど誘致
	アントレプレナーシップ教育推進	・教育機関、研究施設と連携し、フードテックの共同講座等を開設	・新潟県で創出されたSUの多くがフードテック分野
	オープンイノベーションの促進	・食関連大手・中小企業がSU支援に携わることで、企業内での新規事業創出、M&Aによるイノベーション加速を支援 ・米関連の技術開発や海外展開を推進する委員会を設け、参画企業の交流、協業促進を行う	・フードテックタウン構想へ100社が関わっている ・M&A5案件程 ・新潟県全体の米関連分野での売上が増加
	起業家・支援者等の呼び込み	・フードテック起業なら新潟という認知を高め、県外からフードテック起業家と支援者を呼び込む	本コンソーシアムと連携し共通目標を設置
新潟大学	・脳研究所の設置 ・「こいがた2km「おいしさDX」産官学共創プロジェクト	・新潟大学脳研究所の設置(設置済) ・飲食業や食品製造業をはじめとしたさまざまな業種の事業者と連携しながら「おいしさ」のDX化を図ることで、本市が誇る食関連産業の高付加価値化と、フードデータを駆使する人材の輩出を目指す先進的なプロジェクト	・世界有数の(医療、健康)先端研究所による産学連携/社会連携を促進 ・内閣府「地方大学・地域産業創生交付金事業」R6採択

# V. コンソーシアム内での取組内容

## 2. スタートアップ・エコシステム形成に向けた今後の取組

	主要な実施主体	活動	具体的な内容	5年後の目標
金	新潟県、第四北越銀行、野村証券新潟支店 <small>(野村総合研究所、にいがた産業創造機構、第四北越リサーチ&amp;コンサルティング、ブリッジにいがた、新潟県信用保証協会)</small>	事業創発支援	新事業創発(0→0.5)を支援する「新潟イノベーション・プログラム」の運営	参加者による起業10社
	新潟県、第四北越銀行 <small>(にいがた産業創造機構、第四北越リサーチ&amp;コンサルティング、第四北越キャピタルパートナーズ、新潟県信用保証協会、新潟ベンチャー協会、新潟イノベーションベース)</small>	事業化支援、事業成長支援	外部メンターも加えた無料相談会「ビジネス・ブラッシュアップ・ブートキャンプ(BBB)」により「レギュラー相談(事業化:0.5→1)」とスペシャル相談(事業成長:1→X)の2段階のメニューを提供	継続支援先15先
	第四北越リサーチ&コンサルティング	経営相談	経営コンサルタントによる無料の経営相談会「にいがたパワーアップサロン」の運営	—
	ブリッジにいがた	販路開拓・ブランディング支援	ブリッジにいがたの商社機能を活用した販路開拓・ブランディング支援	—
	第四北越銀行	課題解決支援、マッチング支援	銀行取引先の紹介、課題に応じた各種提携先の紹介、展示会・商談会の紹介	—
	第四北越キャピタルパートナーズ、第四北越銀行	資金調達支援	デット、エクイティ両面から資金調達支援を行う	—
	新潟県、東京証券取引所、第四北越銀行、新潟ベンチャー協会、新潟経済同友会	IPO支援	「IPO経営人材育成プログラム」の運営、証券会社・監査法人・J-Adviser等の紹介	県の目標設定に一致
	第四北越銀行(海外事業戦略室)	海外事業支援	アライアンス金融機関や提携コンサル会社、JETRO、JICA等と連携し、海外進出、輸出入、外国人材活用等を支援	—
	新潟ベンチャーキャピタル株式会社	ベンチャーファイナンスの促進	地方創生新潟1.2号ファンドを軸とした、資金調達および連携促進のためのネットワーク構築 ・県内SU拠点等と連携したSU起業家の発掘育成 ・ベンチャーファイナンス(投資実行) ・SUと投資家および地域企業とのネットワーク形成支援	・SUの調達額(当ファンドからの投資額)15億円/5年 ・マッチング案件数50件/5年